

Yamato Welfare Foundation  
ヤマト福祉財団

発行部数14万部  
非売品(季刊)

2024.4.20 Spring

No.

82

# NEWS



理事長インタビュー

## 財団30年 その先の未来へ

2024年度

## ヤマト福祉財団助成金が決定

助成先レポートVol.48

(社福)希望の森 太陽農園(大分県佐伯市)

秘蔵のレシピがロコミを呼んだ  
燻製がもたらす味わいと張り合い



### Profile

1937年11月13日大阪市生まれ。1977年ひびき共同作業所開設。1984年(社福)知的障害者授産施設ひびき作業所施設長。1997年ハイワークひびき開所に伴い施設長。2003年(社福)ひびき福祉会理事長。2013年「夢へのかけ橋」実践塾第1期(2013年)、第2期(2016年)亀井塾塾長。2006年第7回ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞

## 人の幸せを願うことが 福祉の原点

自分がヤマト福祉財団とかかわらせてもらったのは27年前のことです。財団の設立者小倉理事長がまだご健在のところ。大阪において1997年7月23日に開催されたパワーアップセミナーで開所間もないころのハイワークひびきの製菓作業の報告をさせてもらったことです。以来フォーラムの講師をさせていただき関わりを深めさせていただきました。

2006年に大阪府社会福祉協議会の推薦をいただいて第7回小倉昌男賞を受賞させていただきました。小倉初代理事長はご逝去され山崎篤理事長の時でした。山崎理事長からはこの受賞を終点にしないで、出発点として頑張ってくださいと言われたことはしっかりと覚えています。

理事長が有富理事長に変わられた時、有富理事長から「夢へのかけ橋」実践塾で亀井塾をやってみませんかとお誘いを受けました。特別に優れた能力がある訳でもない自分でしたが、いろいろな事業所の方達との交流は自分自身にとって必ず良いことの始まりと思ってお請けしました。その結果、はらから福祉会の理事長、武田元さん、武蔵野千川福祉会の理事長菅野先生、新堂薫さん(故人)達との出会いの中で多くの学びをいただきました。

亀井塾は2期4年間頑張ることができました。塾生として参加していただいた職員さんは熱心な方が多く、真面目に障害のある人の労働と向き合っていました。自分の力不足のために十分なことができなかったことが悔やまれます。

少人数のパワーアップセミナーから大きな会場でのフォーラムへと移り変わっていききましたが、まだまだこの事業の持つ意義の重大さは秘めています。私たちの仕事、障害のある人の働きを通して収入を上げることの大切さを、毎日の実践の中でしっかりと位置付けなければなりません。

私たちは終点の無いレールの上を走っています。人の命には限りがありますが、しかし事業には終点はありません。後継者の手によって立派に引き継がれていくことが理想です。後継者を間違えて滅びていく組織も少なくありません。ヤマト福祉財団はヤマトの関わるすべての人たちの手によって、いつまでも継がれていくことと思います。

人の幸せを願うことが福祉の原点です。自分は今年で87才を迎えます。幸いにして後継を担っていただける方々に恵まれ、安心して退任できることを喜びとしています。私にご厚情を賜りました多数の方々から感謝しています。

※障がいの表記について：本コラムは著者の表記を尊重しています

## CONTENTS

表紙写真

助成先レポート(P10)で取材させていただいた太陽農園「燻製屋燻々」の移動販売車の前で利用者さんが商品をPR。キッチンカーに変身した元ウォークスルーが障がいの者のお役に立っています。

03 理事長インタビュー  
財団30年  
その先の未来へ

08 2024年度ヤマト福祉財団助成金 決定

10 助成先レポートVol.48  
(社福)希望の森 太陽農園(大分県佐伯市)  
秘蔵のレシピがロコミを呼んだ 燻製がもたらす味わいと張り合い

12 販路拡大研究会  
23の事業所が集う大型マルシェ  
「ヒロシマルクト」を開催しました

13 ヤマトグループボランティアプロジェクト  
地域福祉活動編  
ヤマト繋がるプロジェクト

14 農福連携実践塾



日本障害フォーラムが  
推進するイエローボン  
運動に賛同しています。





30 years

理事長インタビュー

# 財団30年 その先の未来へ

財団法人ヤマト福祉財団は1993年、4月の発起人会を経て9月に設立されました。初代理事長は当時ヤマト運輸会長を務め、私財を投じた小倉昌男氏です。

その目的は障がい者の自立および社会参加できる環境づくりに貢献すること。その趣旨を理解し、現在はヤマトグループ社員約71,000人が賛助会員に手を挙げ、ヤマト運輸労働組合からは夏のカンパやボランティア活動で、福祉財団の活動を支えていただいています。

設立後、福祉施設への助成からスタートした活動は、さまざまに枝を伸ばし、30年間でより幅広く、より厚くなってきました。

節目を機に、福祉財団のこれまでとこれからについて、山内雅喜理事長にお伺いしました。

第三回 ヤマト福祉財団賞贈呈式  
主催 財団法人 ヤマト福祉財団







理事長インタビュー

# 小倉昌男初代理事長の思いを繋いで

——ヤマト福祉財団は昨年9月10日に設立30周年の節目を迎えました。これまでの歩みを振り返られて、山内理事長はどのような感慨をお持ちですか？

ヤマト福祉財団は1993年に小倉初代理事長が、寄付された個人資産(ヤマト運輸の株式)を基本財産として設立されました。

小倉昌男さんが目指したものは、障がいのある人もない人も、みんなが一緒に幸せに暮らせる社会です。宅急便という社会インフラを生み出すことで、生活者の豊かな幸せを実現させ、つぎに福祉財団を通して、障がい者の幸せを実現しようとしてこられました。

その思いはとても強いもので、私たちもその思いを受け継ぎ財団もさまざまな模索をつづ

けてきた30年だったと思います。

——小倉初代理事長の「強い思い」というものを、山内理事長はどういったところから感じとられましたか？

自分がそれをはっきりと感じたのは、ヤマトグループの(企業姿勢)にです。社員のみならずは(社訓)や(経営理念)を毎朝、唱和されていると思いますが、その中に(企業姿勢)というものがあります。ヤマトグループが社会に約束し、つねに実行していく基本となる考えをまとめたものです。

じつはこの企業姿勢の策定に当時、私も関わっていて、その中で小倉昌男さんといういろいろな話をしました。ですから、そこには小倉さん



4.2 (株)スワンネット設立(~2009)

8.1 (株)スワンがヤマト運輸(株)の特例子会社に移行

11.22 スワンカフェ1号店(赤坂店)オープン

12.9 第1回ヤマト福祉財団賞贈呈式をホテル海洋で開催

6.3 (株)スワン設立

6.16 スワンパーカー 1号店(銀座店)オープン

2.1 阪神・淡路地震の被災障害者救援対策本部に対して300万円を緊急援助

3.25 援助事業第1回選考委員会 助成金贈呈先 平成5年度、6年度上期をあわせて15件2,923万円を決定

3.31 賛助会員公募 個人会員35,555名

9.2 ヤマト運輸労働組合より「夏のカンパ」ご寄付をいただく



6.30 小倉初代理事長が滞在先のロサンゼルスで逝去(80歳) 「ヤマト福祉財団賞」を「ヤマト福祉財団小倉昌男賞」に名称変更

2004

2003

2001

2000

1998

1996

1995

1994

1993

2005

1.20 『ヤマト福祉財団ニュース』創刊号発行

10.1 障がい者のクロネコメール便配達事業開始



8.29 小規模作業所パワーアップセミナー開始(~2009)

4.20 財団設立発起人会開催

9.10 財団法人ヤマト福祉財団設立 初代理事長小倉昌男就任





の理想や理念が込められています。  
12項目ある企業姿勢の6番目では「地域社会から信頼される企業」を謳い、「ヤマトグループは、地域社会から信頼される事業活動を行うとともに、豊かな地域づくりに貢献します。特に、障がいのある方を含む社会的弱者の自立支援を積極的に行います」と明記しています。  
この後段部分「障がいのある方の自立支援」

については、とくに小倉昌男さんが加えたいと希望された言葉なんです。私たち事務局が持つていった草稿にはありませんでした。「これを入れたいんだよね」とおっしゃり、「障がいのある方の自立を願い、応援します」とご自身で書いていただいたんです。  
目の前でその様子を拝見し、「企業姿勢」の6番目に小倉昌男さんの強い思いを感じ取りました。

**1.31** ヤマト運輸(株)のクロネコDM便取り扱い終了により、19年にわたったヤマト福祉財団の「障がいの者のクロネコDM便配達事業」が終了 **2024**

**7.28** ゆいジョブ!実行委員会主催で障がい者と企業をつなぐ『おしごと発見フェア2022』開催 **2022**

**6.22** ヤマトグループボランティアプロジェクト(農業編、地域活動編)開始 **2021**

**7.10** 「(NPO)医療的ケア児者と家族を社会に繋ぐネットワーク」の支援開始 **2021**

**9.13** 新型コロナウイルス感染症対応臨時助成金を公募 応募総数140件より、34施設6,565万円を決定 **2020**

**6.30** コロナウイルス感染拡大の影響を考慮して在籍奨学生全員に10万円の緊急見舞金を支給 **2020**

**9.10** 農福連携実践塾開講 **2020**

**9.25** 2020年度障がいの者の働く場パワーアップフォーラムはコロナ禍のため、リアル開催を中止。3会場よりオンライン配信を実施 **2020**



**10.26** 沖縄県限定の「障がいの者の働く場パワーアップフォーラム沖縄」開催(ゆいジョブ!実行委員会活動へ発展) **2018**

**12.9** ネパール小児白内障治療プロジェクト ネパールの小学校2校で2日間アイキャンプ実施(~2022)



**12.10** ネパール小児白内障治療プロジェクト 現地医療チームとの実施合意文書に調印 **2017**

**4.9** 「水稲自然栽培チャレンジ」を開始 この活動をきっかけに設立された自然栽培パーティを支援 **2015**

**11.27** 経済的自立達成事業所紹介サイト、「夢へのかけ橋」公開 **2014**

**9.27-28** 受賞者リーダープロジェクトを進展させ、「夢へのかけ橋実践塾」開講(武田塾、新堂塾、亀井塾) **2013**

**4.1** 内閣総理大臣より公益認定を受け公益財団法人ヤマト福祉財団としてスタート **2011**

**4.11** 内閣府より復興支援事業の追加認定を受け、ヤマトグループの「宅急便1個につき10円の寄付」の受け皿として、「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生事業」を開始 **2011**

**7.23** 2泊3日形式のセミナーから1日・200人規模の「障がいの者の働く場パワーアップフォーラム」開催へ **2010**

**9.25** 受賞者リーダープロジェクト「働くちから革新塾」(塾長 新堂薫氏)10施設で3年間の塾がスタート(~2012) **2010**

**12.16** 「障がいの者の暮らし変革塾」(塾長 武田元氏) 9施設で3年間の塾がスタート(~2012) **2010**

**12.7** 障がい者自身によるクロネコメール便配達報告会「私を、待ってくれる人がいます」を開催(仙台市) **2007**

**5.23** (社福)ヤマト自立センター開所 (埼玉県新座市) **2006**

**9.1** 障がい者施設に専門家を派遣し、指導を行う「障がいの者の働く場づくり応援プロジェクト」開始(~2009) **2006**







## 障がい者が自立してゆける 社会基盤の整備を 推進することが必要であります。

(ヤマト福祉財団 設立趣意書より)

### 障がい者の 真の自立に向けて

「社会的弱者の自立支援」というミッションを企業姿勢に埋め込んだわけですが、とくに障がい者の「自立を、福祉財団ではどのように考えてきたのでしょうか？」

福祉財団の設立趣意書には「障がいのある方の社会的・経済的自立が困難な状況を憂い、そうした方々が自立してゆけるための社会基盤の整備を進める必要がある」と記されています。

小倉さんは「自立」をとても大切なことだと言っています。自立がなぜ大切なのか？

人は自立することで、はじめて本当の幸せを感じられるのではないのでしょうか。自立とは、自分の意志を持って生活をしていくということです。そのためには収入という部分と、働きがい、生きがいの部分が欠かせません。

自分が誰かの役に立っているんだという実感、自分はこれができたという達成感がともなうて、感じることでできる充実感です。働くことがなぜ生きがいになるのか。それは人の役に立っているうれしさです。それが幸せにつながると思うんですよね。

小倉昌男さんは阪神・淡路大震災の時に被災した共同作業所を訪問したことがきっかけで、作業所の実態を知りました。

多くの作業所が下請け作業に従事していること。障がいのある利用者の平均賃金が、月給1万円ほどだということ。

それではとても自分らしい生活などできません。自立とは程遠いものです。その実情に衝撃を受け、小倉さんは憤りを感じたのだと思います。障がいのある方だから仕方がないで済む

話ではないと。

ここでまず作業所の収入を上げること、そのためには作業所が経営の視点を持つことが大切だと訴えたのです。小倉さんは福祉は素人でも、経営に関してならアドバイスができる。そうした活動を通じて、社会的弱者の自立を実現していこうと考えられたわけです。これはヤマトだからこそこできることだと思います。

——具体的に福祉財団はどのような取り組みをしてきましたか。

助成金や奨学金、セミナーなどを中心に行っていました。

小倉昌男さんは1996年から「小規模作業所パワーアップセミナー」を始めました。今は「障がい者の働く場パワーアップフォーラム」と形式を変えましたが、福祉施設の職員の方に向けた経営のノウハウを学ぶ研修です。

また、成功事例を具体的に学ぶ場として、ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞者を塾長に迎えた「実践塾」を2010年より開催しています。

利用者の給料アップに熱心な福祉施設を対象にした助成金による支援は、福祉財団設立当初から取り組んでいます。

——株式会社スワンと社会福祉法人ヤマト自立センターの設立にはどういった狙いがあったのですか？

株式会社スワンが運営する（スワンベーカーリー）は、小倉昌男さんがノーマライゼーションの理念を具現化させるために立ち上げたベーカーリー事業です。障がいのある人もない人もともに働く「おいしい焼きたてパンの店」として、



1号店は1998年銀座にオープンしました。いわば、小倉さんが理想とする姿のモデルです。

商品にパンを選んだのは、毎日消費されるうえに、当時は焼き立てを提供するのは珍しく、地域の方に「おいしい」と喜ばれ、受け入れてくださりやすい素地があったからです。工程がたぐさんあり、利用者に合った業務があるのも魅力でした。

スワンベーカーは知っていても、ヤマト自立センター(スワン工舎)については、よく知らないという方も多いと思います。

こちらは2年間という訓練期間を設けて、障がいのある方が就労に必要な知識や技術を習得する場です。一人ひとりにあった就労先を開拓したり、一般企業へ就職したあとと一定期間、専門の職員が定着支援のためのフォローを行っています。2006年の開所以来、埼玉県新座市と東京都大田区(羽田クロノゲート内)に事業所を設け、これまでのべ約240人が、一般企業に就職されています。

いずれも福祉財団を中心にヤマトグループ全体が協力して誕生した組織で、障がい者の自立を支援し、給料アップに貢献するため、社会のノーマライゼーションを進めるために、できることから取り組んでいる証のひとつです。

## 「働く喜び」を誰もが感じられる未来に向けて

福祉財団の今後の取り組みについてお聞かせください。

これまでの活動を踏まえ、この先も小倉昌男さんの思いをしっかりと受け継いで、為すべきことを進めていきたいと考えています。

ただ、時代はどんどん変わっています。急速にデジタル社会が到来し、おそらく働き方とか、

事業のやり方が大きく変化していくのは間違いないありません。

それにあわせて、障がいのある方の働き方や働く場も変わっていくことでしょう。そこにはいろいろな新しいやり方も出てくると思います。時代の変化に合わせて、より多くの取り組みを、私たちも十分に研究して広げていきたいと思っています。

もちろん、ヤマトグループ各社それぞれの職場では、障がい者の雇用率が国の定める法定雇用率を大きく上回って、すでに3000人を超える障がいのある方といっしょに働いています。

しかし、障がい者雇用を単に広げること、国の定める基準をクリアすること、そのものが目的ではありません。

ヤマトグループの中で働いている人が障がいのあるなしに関わらず、生きがいとか働きがいを感じられるよう、困ったときにサポートの手が届くような環境を作ることが、そのままノーマライゼーションに直結するのだと思います。そうした環境を実現するのがまず第一で、そうすれば結果として働きたいという方が増え、障がいのある方の雇用も自ずと広がってくるはずですよ。

福祉財団としてそのために、みなさんにもっともっとどんなことが必要か知ってもらい、みなさんからのご意見もたくさんいただきたいと思っています。

障がい者も含めみんなが幸せになれる社会を。小倉昌男さんが思い描いた社会の実現へ、ヤマトグループ全体で向かっていくよう、福祉財団もその役割を揺るがすことなく尽力していきます。



## 小倉昌男さんが書き加えた企業姿勢⑥

# 障がいのある方の自立を願い、 応援をします。

(ヤマトグループ企業理念 企業姿勢(改訂前)より)





# 障がい者給料増額支援助成金 選考施設

障がいのある方々の給料を増額するための新事業の立ち上げや、生産性向上に必要な設備や機器を購入する資金を助成します(400万円以上の助成先を一部ご紹介します)。

空と雲の家福祉作業所(埼玉県羽生市)

490万円

## 蜂蜜製造小屋の拡張、改修 および設備更新工事資金

- 2022年度平均給料 ..... B型16,611円(27人)
- 2025年度目標給料 ..... B型16,935円(31人)

### 蜂蜜製造小屋拡張で売上アップを目指す

空と雲の家福祉作業所は、2008年に養蜂事業をスタート。当時は採蜜量50kg前後でしたが、2023年度には年間採蜜量1tまでに成長しました。「100%天然の空雲はちみつ」として認知度も高まり、道の駅をはじめとした店頭販売、羽生市ふるさと納税返礼品、観光協会からの推奨品として認定されています。

養蜂事業スタート時に仮の採蜜小屋として譲り受けた、プレハブ小屋で作業を行っていますが、これ以上の採蜜量を増やすことが限界です。

助成金で、①採蜜小屋を広げ、巣箱の搬入・採蜜を行う作業スペースと、衛生面を配慮して瓶詰め・洗浄作業を行う作業スペースを分割。②小屋の雨漏りや床抜け、LED照明、空調設備を整え、夏場冬場の働く場の作業改善を実施。③重い巣箱を小屋へ運びやすくするためにコンクリートの搬入路造成を実施。

作業場の環境改善により、作業効率を向上させるとともに蜜蝋などはちみつ関連商品の開発も行い、販売収入増年間5%以上を目標とし、全国平均工賃を上回り続けることを目指します。

ここにこ会(広島県福山市)

500万円

## 焼肉のたれ製造電気式攪拌機付き 回転釜購入資金

- 2022年度平均給料 ..... A型130,835円(15人)
- 2025年度目標給料 ..... A型142,708円(16人)

### 作業効率の向上と安定した品質で、製造数の増加、増収へ

ここにこ会では、焼肉のたれ製造・コロッケ製造・関東串製造など食品製造で、地元の特産品を使った商品を企業や地元のスーパーに卸しています。特に法人設立当初から25年にわたり製造を続けている焼肉のたれは、年間10万本出荷の実績で収入の柱となっていますが、原材料費の高騰や光熱費・人件費の値上がりで、経営環境が厳しい状況です。

現在使用している電気回転釜は、原材料攪拌、温度管理の調整も手動で行い1日8回の製造が限度です。そこで電気式攪拌機付き回転釜の導入を計画しました。

導入により、火加減と攪拌、温度管理が自動のため、安定した商品の均一化が計れるようになります。また、作業効率の向上と安定した製造数を確保、自動攪拌付きのため手動で行っていた利用者の負担軽減になります。なにより、だれもが製造に携われるようになり、利用者の仕事の幅が広がり、ここにこ会の作業全般の製造数の増加が可能となり増収に繋がります。

比内ヒルズ・ふもとの家(秋田県大館市)

500万円

## トラクター購入資金

- 2022年度平均給料 ..... B型25,981円(12人)
- 2025年度目標給料 ..... B型32,051円(13人)

### 農業を委託事業から自主事業へ

比内ヒルズ・ふもとの家では、地元の認定農業者と連携し、「いぶりがっこ」と「黒にんにく」の生産・加工・販売を行っています。「いぶりがっこ」は2020年の設立当初から手がけ、種蒔き～収穫～加工の全行程で連携し作業に取り組み、ネット通販「こだわりAKITAセレクトショップ」で2021年には年間売上一位の実績があります。

利用者さんのほとんどが農業未経験者ですが、農業者から指導を受けて取り組む中で利用者さんの野菜を育てる意欲や変化を見て、農業を自主事業で行うことを考えています。じつは、連携する認定農業者の高齢化もあり収穫量の減少で、加工に必要な野菜を外部から購入しているのが現状です。当事業所が自主事業で野菜を収穫・供給することで、農業者は外部調達が必要なくなります。

トラクターの導入は、生産性の向上と労働負荷の軽減です。アタッチメントを必要に応じて装備することで、耕運、畝立て、マルチ張り、播種、肥料散布、草刈り、収穫物の運搬などの作業が可能になります。生産向上で利用者工賃向上を実現します。

ホトラ舎(滋賀県高島市)

477万円

## 干し芋乾燥機の新設と加工場の改修工事資金

- 2022年度平均給料 ..... B型34,704円(22人)
- 2025年度目標給料 ..... B型36,458円(24人)

### 新干し芋乾燥機の導入で生産量3倍、売上14倍へ

年間を通じて、グループ会社から干し芋・切り干し大根・干し椎茸などの食品加工の作業を受託、高齢化が進む地域の農家さんへ援農を行っています。

元々空き家だった住宅の倉庫に、事業所設立当初に購入した中古の乾燥機を設置していますが、機械もすでに生産終了し、故障した時の修理ができず、なにより生産量にも限界があります。温度や湿度管理についてもその日の天気の影響され、生産工程の中で衛生面の課題があり、安定した品質での製造が難しい状況です。

助成金で、新しい乾燥機を設置するための食品加工施設の改修工事、干し芋乾燥機を導入します。これにより、干し芋、切り干し大根、干し椎茸の受託作業に加え、新規自主事業として、販路拡大・収益の増加が見込める干し芋加工の商品開発・販路拡大を進めます。新しい干し芋乾燥機の導入で、1日に現状の3倍の製造が可能となり、現状の14倍以上の粗利が見込めます。自主事業化することで粗利益のほとんどを工賃原資にできるため、さらなる工賃向上が可能です。





# 2024年度ヤマト福祉財団助成金決定一覧

(助成総数：64件 助成金額合計：1億3,280万円)

## 1. 給料増額支援助成金決定一覧 (助成数：34件 助成金額：1億1,182万円)

単位(万円)

所在地	福祉事業所・団体名	助成対象	決定金額
北海道札幌市中央区	多機能型就労継続支援B型事業所リベラ	ダブルキャブ(車両)の購入資金	500
北海道旭川市	ニムビン	ウエス製造用パッキングマシン購入資金	150
宮城県岩沼市	JOCA東北・J'sWorkB	UVプリンター、レーザー加工機の購入資金	305
宮城県仙台市宮城野区	びあ	燻製機の購入資金	396
北海道函館市	北海道函館市 地域活動支援センターおはよう	タイヤショベルの購入資金	400
秋田県大館市	比内ヒルズ・ふもとの家	トラクター購入資金	500
福島県東白川郡塙町	障がい者就労サポートセンターウッドピアはなわ	ぶどう栽培棚、ハウス等関連設備の整備資金	500
群馬県高崎市	障害福祉サービス事業所エール	農作業用ハイクリアランス仕様トラクターの購入資金	250
群馬県甘楽郡甘楽町	ブレバレ	音楽コミュニティスペースの改装資金	250
埼玉県北葛飾郡杉戸町	れんげそう作業所	農業用機械購入資金	400
埼玉県羽生市	多機能型事業所空と雲の家福祉作業所	蜂蜜製造小屋の拡張、改修および設備更新工事資金	490
埼玉県本庄市	佐久間さんち	弁当製造建屋の増築資金	200
神奈川県横浜市鶴見区	ふれんど	小型卓上巻き寿司機の購入資金	156
神奈川県小田原市	ほうあん第一しおん	車両の購入資金	142
山梨県都留市	みとおし	食品加工のコンベクションオープン購入資金	500
新潟県新潟市中央区	スワンカフェ&ベーカリー新潟店	製造パンの訪問販売・配達用軽ワゴン車購入資金	100
新潟県新潟市西区	ラグーン	6次産業化に向け厨房設備機器購入、改修工事、商品デザイン等に係る資金	500
福井県敦賀市	野坂の郷	洗濯機・乾燥機の購入	400
福井県小浜市	つみきハウス	新商品開発、製造のベーカリーオープン等購入資金	280
岐阜県恵那市	森の生活	温度管理可能な発酵・熟成用ステンレストランクの購入資金	264
静岡県浜松市天竜区	みのり	ロボット草刈機の購入資金	68
三重県四日市市	サポートセンターあいがる	ぶどう栽培用の垣根と農機具の購入資金	380
滋賀県高島市	ホトラ舎	干し芋乾燥機の新設と加工場の改修工事資金	477
大阪府枚方市	障がい者複合施設いそしまカム	運搬用の軽トラック購入資金	129
大阪府東大阪市	ワークワーク	アリゲーターシャーリング(挟み式切断機)油圧式HAS-300型購入資金	360
大阪府泉南市	夢楽人	運搬車(1.3t)パネルバンの購入資金	450
和歌山県日高郡みなべ町	なかよし作業所	円型振動ふるい機購入資金	196
広島県福山市	にこにこ会	焼肉のたれ製造電気式攪拌機付き回転釜購入資金	500
福岡県糸島市	MUKA	剪定残滓チップ、おが粉化用の樹木粉砕機購入資金	500
熊本県熊本市南区	第二城南学園就労継続支援B型事業所	食品乾燥機購入資金	160
大分県豊後大野市	ロイヤルウォッシュ	私物洗濯代行サービス事業増に向け2段式乾燥機の購入資金	368
宮崎県都城市	CBSリネンサービス年見事業所	業務用水洗機・乾燥機の増設資金	495
宮崎県延岡市	すまいる作業所	ゴミ圧縮機購入のための資金	50
沖縄県国頭郡本部町	スマイル	セメントレス舗装製品の加工機械整備資金	366

## 2. 福祉助成金決定一覧 (助成数：30件 助成金額：2,098万円)

単位(万円)

所在地	申請団体/事業所名	助成希望対象	申請区分	決定金額
北海道苫小牧市	特定非営利活動法人テレサの丘	「スペシャルニーズを持つ子どもたちとご家族の皆様のための余暇」事業	文化活動	90
北海道札幌市中央区	特定非営利活動法人さっされん元気ショップ	元気ショップ電子カタログ制作	出版	100
宮城県仙台市若林区	特定非営利活動法人ワンダーアート	アートによる難病患者と家族の療育支援	文化活動	100
茨城県つくば市	特定非営利活動法人ワールド・ヒーロー・プロジェクト	「ダウン症児に向けた忍者&ヒーローによるショーと運動教育エクササイズイベント」実施、三都市巡業事業	文化活動	100
茨城県つくば市	一般社団法人日本意思決定支援ネットワーク	「意思決定支援ツールキット実践事例集」出版事業	出版	100
埼玉県鴻巣市	こころのカフェの会	生きづらさを抱え、ひきこもりがちな当事者と家族の学びと交流	講演会	27
千葉県浦安市	一般社団法人浦安市スポーツ協会	チャレンジド・スポーツ教室「すべての障がい児・者にすべてのスポーツ体験を」	スポーツ活動	65
神奈川県横浜市神奈川区	NPO法人BLACKSOX	チャレンジテニス!2024-25	スポーツ活動	100
東京都豊島区	社会福祉法人豊心会	劇団であとるみのり第28回公演の実施	文化活動	65
東京都多摩市	特定非営利活動法人縁	「リカバリーカレッジ多摩」事業	講演会	57
東京都国立市	NPO法人ワンステップかたつむり国立	みんな一緒にステージハソソーシャル・インクルージョンの公演活動	文化活動	50
東京都町田市	ブラインドITサポート町田	視覚障害者のスマートフォン教室による生活の質の向上	ボランティア活動	100
東京都日野市	日野坂CANPAS	「毎日の食事を楽しくおいしく。摂食嚥下障害を持つ子どものための家族料理教室の開催」事業	文化活動	100
東京都葛飾区	特定非営利活動法人風の子会	重度障がい者の豊かな地域生活を目指す余暇支援小集団活動	ボランティア活動	50
新潟県燕市	ロンディーネの社	重症心身障がい児、医療的ケア児のためのスヌーズレーム整備事業	スポーツ活動	100
富山県富山市	特定非営利活動法人ひまわり	ひまわり「あおぞらフェスティバル～地域みんなで楽しもう!～」	文化活動	70
滋賀県草津市	KidsLocoProject	KidsLocoProjectInternationalMeeting2024	講演会	50
大阪府大阪市中央区	大阪障害者雇用支援ネットワーク	支援を要する学生のためのインターンシップ事業	ボランティア活動	100
大阪府河内長野市	ゆっくりにっぽ仲間の会	「施設研修プログラム」	ボランティア活動	12
大阪府堺市北区	一般社団法人ことこのね	触法障がい者の地域生活定着を促進する講演会事業.	講演会	42
兵庫県神戸市東灘区	特定非営利活動法人ピュアコスモ	「発達障がい児のための感覚運動教室」運営事業	スポーツ活動	55
兵庫県神戸市中央区	兵庫県肢体不自由児者父母の会連合会	仮称：「ケア・インベーション2024：兵庫県ノーマリフティングプロジェクト」	講演会	100
兵庫県神戸市北区	特定非営利活動法人幸運鳥	幸運鳥おしゃべり倶楽部	ボランティア活動	6
島根県出雲市	夢の森フリースクール	映画上映・講習会「食から考える子どもと地球の明るい未来」	講演会	100
岡山県総社市	多機能型事業所LaLa	映画館を貸し切って行う重症心身障害児、医療的ケア児とその家族を対象とした「家族で楽しむ映画鑑賞会」開催事業	文化活動	53
広島県広島市西区	(一社)舞台芸術制作室無色透明	おきらく劇場ピロシマ演劇クラブ～人と人との関係性を育むコミュニケーションWS～	文化活動	39
福岡県北九州市小倉南区	WinC構想運営委員会	「『ともに暮らす街』の軌跡をのこす」オフィシャルブック出版事業	出版	100
福岡県福岡市博多区	一般社団法人言葉のかけはし	～聞こえのフォローが当たり前の社会へ～「アニメで知ろう!難聴講座」	講演会	82
宮崎県都城市	都城にこにこクラブ	高齢者・障害児者の心をいやすポケットオルゴールの製作と寄贈活動	ボランティア活動	35
鹿児島県鹿児島市	NPO法人コンサルサポート	作文が書けるようになる寺小屋	ボランティア活動	50



# 秘蔵のレシピがロコミを呼んだ 燻製がもたらす味わいと張り合い

スモーキーな香味が癖になる燻製。大分県の南東部に位置する佐伯市で、注目を集めるのが「太陽農園」の燻製事業です。「経験は人を豊かにする、人生って楽しい」を信じて、自分たちなりのやり方で、夢に向かって狼煙を上げる、その姿をご紹介します。

## Data

社会福祉法人 希望の森 太陽農園（大分県佐伯市）  
2022年度障がい者給料増額支援助成金(368万円)  
助成内容：移動販売車購入資金  
就労継続支援B型31名  
売上 2,940万円／月額平均工賃(B型) 39,061円(2023年度)



Snutsは燻製屋燻々の看板商品



計量や封入には利用者の職人芸が欠かせない



封入後の真空パックで、さらに風味を逃さない

「福祉施設で作っていると率先して言ったことではないんです。そこで勝負したくないので」と語るのは、太陽農園の管理者で「燻々」の代表も務

先、お客様はわずかです。  
障がいのある方が活躍していることを知る取引先、お客様はわずかです。  
「福祉施設で作っていると率先して言ったことではないんです。そこで勝負したくないので」と語るのは、太陽農園の管理者で「燻々」の代表も務

先、お客様はわずかです。  
障がいのある方が活躍していることを知る取引先、お客様はわずかです。  
「福祉施設で作っていると率先して言ったことではないんです。そこで勝負したくないので」と語るのは、太陽農園の管理者で「燻々」の代表も務

## 冗談から駒。ピンチをチャンスに。

佐伯の市街地から清流として知られる番匠川を遡るように車で10分ほど行くと、広がる里山の中に、ロコミで人気に火がついた「燻製屋燻々kunkun」の燻製工場があります。調味や袋詰めをするキッチン建屋の脇に、DIYで建てられた燻製工場は、味のある山小屋風。大型ロッカーのような燻製機もこれまた手作りで、現在は5台がフル稼働で、日々、食材を燻しています。

## める柴田徹也さん。

90年代からつづく社会福祉法人が、障がい者の新しい職場づくりの目的で、2009年に立ち上げた太陽農園。最初は仲間の別グループが製造したパンを仕入れて売り歩きました。その後は木工に力を入れ、技術力がつくにしたがつて、売上也がりかけた矢先、「熊本の地震があったので、受注がピタッと止まってしまったんです」。

そんなころです。柴田さんが個人的な趣味で30年続けてきた燻製を肴に、お酒の好きな利用者さんと飲んでいた席で飛び出した「おつまみとか作りたいよね」の一言。



お手製の燻製機は5号機までフル稼働中。「燻製屋 燻々」代表の柴田徹也さん(左)、長藤大分支部執行委員長(右)

「福祉施設で作っていると率先して言ったことではないんです。そこで勝負したくないので」と語るのは、太陽農園の管理者で「燻々」の代表も務

## ちょっとした人生の輝きに報われる

「福祉施設で作っていると率先して言ったことではないんです。そこで勝負したくないので」と語るのは、太陽農園の管理者で「燻々」の代表も務

先、お客様はわずかです。  
障がいのある方が活躍していることを知る取引先、お客様はわずかです。  
「福祉施設で作っていると率先して言ったことではないんです。そこで勝負したくないので」と語るのは、太陽農園の管理者で「燻々」の代表も務

先、お客様はわずかです。  
障がいのある方が活躍していることを知る取引先、お客様はわずかです。  
「福祉施設で作っていると率先して言ったことではないんです。そこで勝負したくないので」と語るのは、太陽農園の管理者で「燻々」の代表も務

先、お客様はわずかです。  
障がいのある方が活躍していることを知る取引先、お客様はわずかです。  
「福祉施設で作っていると率先して言ったことではないんです。そこで勝負したくないので」と語るのは、太陽農園の管理者で「燻々」の代表も務

先、お客様はわずかです。  
障がいのある方が活躍していることを知る取引先、お客様はわずかです。  
「福祉施設で作っていると率先して言ったことではないんです。そこで勝負したくないので」と語るのは、太陽農園の管理者で「燻々」の代表も務

先、お客様はわずかです。  
障がいのある方が活躍していることを知る取引先、お客様はわずかです。  
「福祉施設で作っていると率先して言ったことではないんです。そこで勝負したくないので」と語るのは、太陽農園の管理者で「燻々」の代表も務

先、お客様はわずかです。  
障がいのある方が活躍していることを知る取引先、お客様はわずかです。  
「福祉施設で作っていると率先して言ったことではないんです。そこで勝負したくないので」と語るのは、太陽農園の管理者で「燻々」の代表も務

先、お客様はわずかです。  
障がいのある方が活躍していることを知る取引先、お客様はわずかです。  
「福祉施設で作っていると率先して言ったことではないんです。そこで勝負したくないので」と語るのは、太陽農園の管理者で「燻々」の代表も務

先、お客様はわずかです。  
障がいのある方が活躍していることを知る取引先、お客様はわずかです。  
「福祉施設で作っていると率先して言ったことではないんです。そこで勝負したくないので」と語るのは、太陽農園の管理者で「燻々」の代表も務

先、お客様はわずかです。  
障がいのある方が活躍していることを知る取引先、お客様はわずかです。  
「福祉施設で作っていると率先して言ったことではないんです。そこで勝負したくないので」と語るのは、太陽農園の管理者で「燻々」の代表も務

先、お客様はわずかです。  
障がいのある方が活躍していることを知る取引先、お客様はわずかです。  
「福祉施設で作っていると率先して言ったことではないんです。そこで勝負したくないので」と語るのは、太陽農園の管理者で「燻々」の代表も務

先、お客様はわずかです。  
障がいのある方が活躍していることを知る取引先、お客様はわずかです。  
「福祉施設で作っていると率先して言ったことではないんです。そこで勝負したくないので」と語るのは、太陽農園の管理者で「燻々」の代表も務

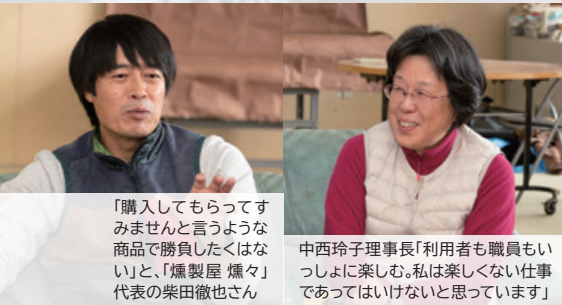


工場の入口には、「みんなで行くぞ、ハワイ」の夢を掲げて、特製のプレートが！





日々、商品開発を行い、現在は約40種の商品展開



「購入してもらってすみませんと言うような商品で勝負したくはない」と、「燻製屋 燻々」代表の柴田徹也さん

中西玲子理事長「利用者も職員もいっしょに楽しむ。私は楽しくない仕事であってはいけないと思っています」



移動販売車は中古の元ウォークスルー。今は太陽農園の宣伝カー!

「口コミが広がって、イベント参加の依頼がかかる。イベントに出店した他所の店舗も興味を持って、仕入れてくれたり…。そこからは、見知らぬ北海道や海外の方がインスタグラムに写真を上げてくれたりして、わーっと広がっていきました」。

柴田さんは、自分たちの燻製をもっとアピールするために、移動販売車の購入を計画しました。当財団からの助成金368万円を元手に2022年10月に入手したのが、走行距離20万kmの中古キッチンカー。ウォークスルー(宅急便配達車両)を、前オーナーが唐揚げ店用に改造した来歴を持つ一台です。

営業場所やイベントの性格に合わせてメニューはその都度変え、燻製ハムのサンドイッチや燻製のアラカルトなどをメインにしつつ、燻製ナッツもお勧めするスタイルで、各地へ出向いています。

利用者への給料は2011年には多い人で1万円ぐらいでしたが、燻々が正式にスタートした2019年からは燻製事業の売上が一気に上がり、初年度で約600万円、2022年度には2300万円に達しました。移動販売は売上そのものよりも宣伝効果への貢献が高いとして、2023年度平均給料は、前年より約40%アップの39,061円になりました。

理事長の中西玲子さんは、給料アップで利用者が変わったと実感しています。

「燻々で頑張っているへまーくんが、『ボーナスでリュックを買ったよ』と見せてくれる。5千円の工賃では何か買おうとも思いませんでした。ですが、ボーナスももらえるようになって一歩前進というか、前向きになった姿に、職員の間も勇気づけられています」。

## 労働組合支部執行委員長 助成先訪問 Series 43

ヤマト運輸労働組合  
大分支部執行委員長  
長藤 一朗さん



### カンパの効果を実感している

製品にシリカゲルを封入する作業に挑戦しました。横で見ていた時はなるほどね、と思っていましたが、実際となると思うように入らない。職人芸だと感嘆しました。

県内でも助成先に採択された福祉施設が増えてきていて、組合員の関心も高まっています。「自分のカンパが、地元に戻ってきて役立つ」と。SDも集配に行くと、うれしいようです。私が言うのも何ですが大分のドライバーは真面目でいい人ばかりなんです。

今日は実際に現場を拜見でき、「毎年の小さな、自分たちの応援の気持ちで、地元で活かされているんだよ」と、組合員に伝えたいです。みんながしっかり生きて、働ける環境づくりの手助けが、夏のカンパを通じて、少しでも私たちにできればと思います。



夢への道も自分たちのスタイルで

今までのご苦労を柴田さんにお伺いすると、楽しいことばかりで、強いて言うならばナッツを卸してくれる問屋探しぐらいだったそう。

「東京の問屋さんから始めて全国を片っ端から電話しました。うちみたいな小さいところは何トン単位とはいかずどこも取引をOKしてくれるのが難しいんですけど、『僕らには夢があるんです』とお話すると、福岡の問屋さんが快く引き受けてくれました」。

「障がいを持っていても人生を楽しむことができる。ナッツで儲けて、みんなでハワイに行く。それが燻々の合い言葉です。」

いま、柴田さんたちは燻々ブランドをいっしょに盛り上げていく仲間を増やす試みに挑戦

しています。高知と鹿児島福祉施設に、無償でノウハウを提供。燻製機も原価で譲り、ナッツの卸問屋も紹介しました。

「ここで手数料とかを取りたいとは思いません。燻製屋 燻々として、製品にただ冠してもらっただけで、いろいろな展開が広がると思うんです。こういう形で、もし日本中をシェアできたら面白いじゃないですか?」。

給料が出せずに苦労しているのはどこも同じ。「お互いさまで、福祉事業所は」と、中西理事長も語ります。

交流のなかで、たとえば燻々の利用者が講師として指導するようない機会も生まれました。これまでにはなかった成長と自信の場です。ゆるやかな連帯が、つぎに何をもちたらずのか、期待が膨らみます。



◆◆◆ 販路拡大研究会 ◆◆◆

# 23の事業所が集う大型マルシェ 「ヒロシマルクト」を開催しました



各事業所がつくる菓子パン、コーヒー、クラフトビールなどの食品から、無添加酒粕石鹸、アクセサリ、Tシャツなどの雑貨まで、多彩な商品を多くの来場者に知っていただきました

昨年から活動しているヤマト福祉財団の事業「販路拡大研究会」。販路を拡大するうえで、まず今年は「もったくさんの地域の方に事業所の商品を知っていただいて、利用者さんの給料アップに結びつけたい」。そんな思いから、3月2日、自主製品を取り扱う23の事業所が一堂に会する大規模マルシェ「ヒロシマルクト」を開催しました。会場は、広島駅の側にあるイベント広場「エキターレ」です。

当日は、朝から小雪が舞う生憎の天気でしたが、約700人の来場者で賑わいました。

ネットで見た商品を実際に手にし、関心を強めた方、チョココレートや缶バッチづくりで大喜びする子どもたち。県内では有名な利用者さん中心によるダンスチームのパフォーマンスもあり、大いに盛り上がりました。

この様子を地元の新聞社やTV局が報道。「SNSやTVなどの宣伝効果は大きい」「お客様から直に高評価の感想を聞いて自信になった」「イベント後も問い合わせが届いている」「たくさんの方々が集まるとパワーが違う」「マルシェだけでなく工賃向上に向けた仕掛けづくりも実現しよう」と参加者たちは手応えを感じています。また、準備段階から地域の方たちとも協力し合うことで、互いのつながりなどの気づきを得られたことも、今回の大きな成果となりました。

※販路拡大研究会：障がい者事業所で作っている商品の販路拡大を目指し検証・検討を実施しています



# すごろく遊びで、笑顔はじける！ みんなで大はしゃぎ

## 2023年度の最後に実施された交流企画をご紹介します

2021年よりスタートした同プロジェクト。2023年度も3つのグループに分かれて、障がいのある方やお子さんと楽しく交流するイベントが企画されました。

前号で11月に催された2チームをご紹介したのにつづき、残る1チームが横浜市中区で1月に実施した「みんな



オンラインでつないだヤマト運輸スタッフが振ったサイコロの目の分だけ、会場参加者がマスを進む大きなすごろくを用意しました。マスに置かれたカードをひっくり返すと、そこにはミッションが…。参加チームにはそれぞれミッションに挑戦してもらいました。ミッションを通じて、参加者同士が自然と仲良くなり、笑顔の輪が広がります。また、一体感をよりいっそう深めるために、みんなで行う「グッドポーズ」を準備。オンラインの垣根を越えて、全員でポーズを決めると、大いに盛り上がりました。

「ヤマト繋がるプロジェクト」は、ヤマト運輸労働組合青年部のみなさんと大学生ボランティアの方々を協働で、福祉ボランティアを企画・運営するプロジェクトです。

## 企画チームからメッセージ

### 【学生たちの声】

- 企画の裏には見えない努力があることを身をもって感じる事ができました。幅広く人と関わったのはとても貴重な経験でした。
- 子どもたちが互いに仲良くなるという目標は抽象的でしたが、当日は子どもたち同士でもポーズを取り合ってくれて、目標の達成を形として目にでき、うれしかったです。

### 【ヤマト労組青年部の声】

- 初めてZoomでボランティアに参加させていただき、不安もありましたが楽しめました。参加できてよかったです。
- 参加していた方々の笑顔に触れて、これからより一層身を入れて活動に向き合おうと思いました。つぎは現地で参加したいです。

## 連携・受入れ団体からのメッセージ

- 子どもたちが好きなことや得意なことを事前にヒアリングしてくださり、保護者も安心して子どもが楽しんでいる姿を見ることができました。ミッションの中に「荷物の配達」があったのも、微笑ましかったです。
- 学生さんとチューリップのお子さんが和気あいあいとミッションを楽しまれている様子が印象的でした。ヤマト社員さんとも一体となって、皆が主役のひとつでした。

## 他者との協働から得られる気づき

まずは、各イベントを企画した3チームから、それぞれの企画内容や課題の克服のための試み、そして当日の実施状況についてレポートが報告されました。

その後は学生ボランティア、ヤマト労組青年部らを6つのグループに分け、ワークショップを実施。「ヤマト繋がるプロジェクトの価値について」「私にとつてのP」「感じたこと」などを付箋に書き出すことで、活動の意義を見つめました。

最後にまとめとして、キャリア・デザインや大学の地域連携を専門とする神奈川大学・山岡義卓特任准教授より、学生や社会人がメンバーに加わることで、単なるボランティアの枠を超えて、異なる他者とのコミュニケーションを通じた学びが生まれてくるのではとの講評をいただきました。

次年度のプロジェクトにもご期待ください。



3年目の活動を終えた「ヤマト繋がるプロジェクト」は、波止場会館(横浜市)で2023年度の報告会を実施しました。

# 農福連携実践塾

## （ぶどう栽培塾、たまねぎ栽培塾）

ぶどう栽培塾は、今年から新たな塾生を迎えて第2期へ。たまねぎ栽培塾は第1期の学びの仕上げとして塾長視察を行いました。



### 第2期ぶどう栽培塾

人もぶどうも同じ、次に何が必要かを考え大切に育てる



第2期に入ったぶどう栽培塾は、2月23・24日に福井県あわら市にある林塾長の（NPO）ピアファームで、第1回目の研修を行いました。

初日、林塾長が「ぶどうは品種により収穫期、栽培のしやすさ、美味しさ、販売方法も違います」とぶどう栽培の基本的な流れなどを講演。さらに「雨の中、利用者さんがカッパを着て作業していますが、うちでは当たり前の光景です。本人のやる気の芽を摘んではいけない。次に何を行うかを理解し、しっかりと育てていく。人もぶどうも大事なことは一緒です」と話しました。

翌日は、いまの時期に大切な短鞘剪定や芽傷入れ、主枝の伸ばし方などを体験。「知識だけでは不安でしたが、正しい方法を体験できて良かった」「利用者さんへの支援のあり方も参考になりました」と、8名の塾生はそれぞれ手応えを得た様子です。

最後に熊田統括塾長は「栽培だけでなく、計画の立て方や給料などの計算方法もきちんと理解していきましょう」と伝えました。



### 第1期たまねぎ栽培塾

塾での学びを栽培や経営、さらに販売にも活かしていこう



収穫期を迎えた三つの塾生施設を塾長達が視察。3月1日は沖繩県の2施設を訪ねました。

中頭郡のチームビレッジの塾生は「塾での学びを活かし、大きなたまねぎを栽培できました。今後は自分のやるべき優先順位を意識しながら、計画的に栽培を進めていきます」と報告。南城市の楽ワーク作業所の塾生は「たまねぎの収穫量は1反で約1トンです。塾で学んだ栽培方法は、いままでより草の管理がやりやすい」と話しています。

翌日は、鹿児島県霧島市のほのほへ。塾生は「塾で得たノウハウをみんなで共有し実践しています。今年には播種からの苗づくりを行い、4月の収穫が楽しみです」と報告しました。

視察を終えた小淵塾長は、数字、経営、栽培方法などで幅広く成果を上げていることを評価。「たまねぎ栽培が、事業全体のバランスやみなさんの意識向上のきっかけになっているようですね。今年よりも来年、そしてその次と、作物の販売にも力を入れてください」と伝えました。





1月19-20日

夢へのかけ橋  
プロジェクト  
経済的な自立力を備えた  
新しい福祉に向かって

## 利用者さんの工賃アップが活動の原点

「利用者さんが自主的に動いて、楽しそうに仕事に取り組んでいた。工賃を上げるための目標がしっかり決まっています、残った惣菜を違う形に変えて、徹底して売ってしまおうという精神がすばらしい」と楠元塾長からお褒めの言葉も。「みなさんも個数を一気に増やそうと思うのでなく、1日1個増やせば、月で20個、次は2個増やすと考えて実行してください。自分たちがやろうとしているのは、利用者さんの工賃アップです」と話します。

塾生報告では、高齢者食に挑戦する塾生、売上が10倍になって、今までと桁違いのボーナスを出せたと報告する塾生、温泉の地熱を利用した料理を提供するレストランを始めた塾生等々、それぞれの情報を共有し、先輩・後輩塾生が一つになって、新しいネットワークを繋ぐ研修会となりました。

楠元塾1期生から3期生の塾生17名を集めてフォローアップ研修を実施しました。開催場所は2期生で塾長賞を獲得した小林綾子さんの「弁当屋トボス」(茨城県牛久市)です。

1日目の午前は厨房を見学、午後から翌日の終了まで、塾生の現状報告、日頃の疑問などを出しあってディスカッションを行いました。

入塾した頃の弁当屋トボスは、1日のお弁当製造数が約75個、5年後の2023年11月では717個、売上も月平均約73万円から約580万円の約8倍に。平均工賃も約2万円から5万円を超える実績を伸ばしてきました。「32名の利用者工賃5万円を達成するには、160万円の利益が必要。そのため1日の販売個数を割り出し、それを目標にしてトライアンドエラーを繰り返してきたら、目標に到達した」と報告する小林さん。

## YWF TOPICS

2024年度 障がい者の働く場パワーアップフォーラム  
「人は自立して幸せを感じられる」  
～いま改めて「働く意味」を問う～  
開催のお知らせ



### 東京会場

7月5日(金)10時～17時  
東京都立産業貿易センター浜松町館(港区海岸)

### 大阪会場

8月22日(木)10時～17時  
マイドームおおさか(大阪市中央区本町橋)

#### 参加登録方法

詳しくはヤマト福祉財団のホームページをご覧ください(5月上旬に公開します)。



## カレンダー販売

ご協力をありがとうございました

今年も、文具専門店の伊東屋様からカレンダーのご寄付をいただき、ヤマトグループ各社で販売を行いました。今年の売上は247,197円となり、全額を(社福)ヤマト自立センターに寄付いたしました。伊東屋様、販売にご協力をいただいたみなさまに感謝いたします。



越谷主管支店



船橋主管支店

## 令和6年能登半島地震

障がい者団体へ助成を行いました

2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震で、被災されたみなさまに心からお見舞い申し上げます。

ヤマト福祉財団では、被災地の障がい者施設への物資の支給、被災地障がい者支援の拠点の設置・運営など、現地でいち早く障がい者及び障がい者福祉施設に必要な支援に動きだした「きょうされん」に100万円、「日本障害フォーラム(JDF)」に500万円の助成を行いました。

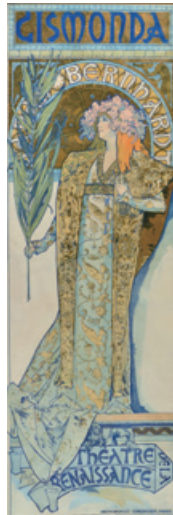


# ミュシャ展

## マルチ・アーティストの先駆者



連作装飾パネル「四季：春、夏、秋、冬」 1896年 リトグラフ／紙



ポスター「ジスモンダ」  
1894年 リトグラフ／紙



水彩画「クリスマス」 1936年 水彩、グワッシュ／紙

すべてチマル・コレクション



ルフェーヴル＝ウティール社ビスケット(ブドワール)缶のパッケージ  
1900年 リトグラフ／金属、紙



書籍「装飾アルバム」より「花言葉」(pl.35)  
1900年 リトグラフ／紙

### アール・ヌーヴォーの代表的画家

19世紀末、ベル・エポックを謳歌するパリで1枚のポスターが大衆の話題をさらいました。人気の舞台女優サラ・ベルナルの演劇ポスター「ジスモンダ」です。手がけたのはアルフォンス・ミュシャ(1860-1939)。彼の流麗な曲線で描かれた装飾性に満ちた作品は優美な魅力を放ち、今も世界中で愛されています。

ミュシャは現在のチェコ共和国に生まれました。若きミュシャはプラハの美術アカデミーを受験して不合格となるも、絵を学びつづけ、やがて27歳でパリへと渡ります。雑誌の挿絵を描いて生計を立てる無名時代を経て、34歳で請けおった「ジスモンダ」で一躍、脚光を浴びました。サラとは6年間におよぶ契約を結び、ミュシャはアール・ヌーヴォーの旗手に躍り出たのです。

### ミュシャ芸術の全貌を解き明かす

画家・デザイナーとして活躍したミュシャは、ポスター作品以外にもじつに多彩なジャンルを手がけました。本展では、とくにデザイン分野に着目し、マルチ・アーティストとして遺憾なく腕をふるったミュシャの先駆性に迫ります。

ミュシャの個人コレクターとして著名なチマル博士のコレクションから、劇場ポスター、書籍の挿絵、ポストカード、お菓子や香水のパッケージ、宝飾品などを中心に、日本初公開のチマル・コレクション約90点を含む、全169点の作品群が一堂に会する貴重な機会です。

ヤマト運輸株式会社は本展作品の輸送・展示に協力しています。

### DATA

- 開催期間 ▶ 2024年4月19日(金)～6月16日(日)
- 休館日 ▶ 月曜(4/29(月・祝)、5/6(月・祝))は開館、4/30(火)、5/7(火)は休館
- 開催場所 ▶ 天童市美術館
- アクセス ▶ JR天童駅(東口)より徒歩約15分  
JR山形駅から「天童(荒谷経由)」行バスにて天童市役所口下車(所要時間45分)、徒歩5分  
山形空港からタクシーでおよそ10分
- 開館時間 ▶ 9:30～18:00 ※入館は閉館30分前まで
- 入館料(税込) ▶

	一般	高大生	小中学生
(税込)	1,200円(1,000円)	800円(650円)	500円(400円)

- ※( )内は20名以上の団体料金
- ※身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳及び療育手帳を提示された方は表示料金の半額(同伴の介護者は無料)
- 主催 ▶ 天童市、公益財団法人天童市文化・スポーツ振興事業団、TUYテレビユー山形、tbc東北放送
- 共催 ▶ 天童市教育委員会
- 後援 ▶ テレビユー福島
- 協力 ▶ 東北芸術工科大学 グラフィックデザイン学科
- 企画制作 ▶ MBSテレビ
- 問い合わせ先 ▶ 023-654-6300(天童市美術館)
- 展覧会公式サイト ▶ [https://www.mbs.jp/event/page/alfons\\_mucha.shtml](https://www.mbs.jp/event/page/alfons_mucha.shtml)
- 巡回情報 ▶ パラタミュージアム(三重)  
2024年8月3日(土)～9月29日(日)

## 第25回ヤマト福祉財団小倉昌男賞 募集



正賞：雨宮 淳氏作 ブロンズ像「愛」

副賞：賞金100万円

募集期間：6月1日～8月31日

ヤマト福祉財団

検索



ヤマト福祉財団では、障がい者の仕事づくりや雇用の創出、拡大、労働条件の改善などを積極的に推し進め、障がい者に働く喜びと生きがいをもたらしている人の中から毎年2名の方に『ヤマト福祉財団小倉昌男賞』をお贈りしています。「この人をぜひ」と思われる方のご推薦をお願いいたします。詳しくはホームページをご覧ください。また、QRコードより、第24回ヤマト福祉財団小倉昌男賞贈呈式の様子をYouTubeでご覧いただけます。

